

人間生活工学「生活空間のデザイン」ワークショップ

生活の景観を考える。モノを通じて生活文化を見る。生活文化から生活環境を考える。

日時：2010年11月26日（金曜） 13：30～17：00（13：00より受付開始）

場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館2階第3会議室（東京都新宿区大久保3-4-1）

主催：早稲田大学創造理工学部人間生活工学研究室・（社）人間生活工学研究センター（HQL）

開催趣旨

飾らないありのままの生活空間とは、どう、考えていけばよいのか・・・生活文化に根ざし、身の丈にあった豊かな生活空間は、どう、デザインすればよいのか・・・生活者を基点に、人間生活工学の新たな展開を参加者とともに模索していくことを目標といたします。

1 はじめに 「生活空間とデザイン：人間生活工学ワークショップ」にあたって

早稲田大学創造理工学部 経営システム工学科 小松原明哲 教授

2 特別講演 「生活感の景観デザイン」

早稲田大学創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

単に整然とした景観よりも、人々の暮らしが息づく生活景の方が時に魅力的である。はたしてそれはデザインできるのだろうか。

3 講演（1）「生活財が語る生活空間」

株式会社 シー・ディー・アイ 主任研究員 加藤ゆうこ氏

生活財調査は30年にわたり、暮らしにおける“モノの保有”と“その配置”に関心を寄せてきた。生活財配置の“遷移”の例を紹介し、暮らしの変化を探ってみたい。

4 講演（2）「トイレの変革：昔から未来まで」

TOTO(株)レストルーム事業部ウォシュレット生産本部 林 良祐氏

欧米から100年以上遅れて水洗化してきた日本のトイレ。そこに日本人はたった10年間でトイレ文化を改革し、今では世界の最先端を走っている。衛生的で環境に優しいトイレを世界の方々にご使用頂くことで地球環境を守りたい。変革して来たトイレ文化とその最新技術をTOTOの商品を通して紹介する。

5 質疑とディスカッション

6 終わりにあたって

（社）人間生活工学研究センター（HQL）

【ご案内】

どなたでも参加できますが、事前にお申し込み下さい。会場の都合により先着50名まで受け付けます。

◆ 申し込み先： 人間生活工学研究センター東京事務所 kouza@hql.jp (FAX：03-3570-9536)

◆ 氏名と所属・連絡先、HQL会員にはその旨を明記して下さい。

◆ 参加費： 2000円（HQL会員は1000円）。当日受付にて支払い。

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車が極めて便利です（キャンパスは駅に直結）。

駅（早大理工方面出口）左手真上の校舎が会場となります（会場は55号館2階）。

